

ほうしゃかぶんせき

# 放射化分析

## ■ 用語解説 ■

放射化分析（ほうしゃかぶんせき、Activation Analysis）は、放射性同位元素を利用した分析方法の一つ。試料に荷電粒子、 $\gamma$ 線、中性子などを照射し、目的とする元素を人工放射性元素に変換し、その放射能の性質（種類や強さなど）を測定し、もとの元素の定量、定性などを行う分析法である。微量成分の分析法としてとても優れているため、よく、利用されている。放射化分析の特徴は、非破壊分析が可能であること、高感度であること、分析精度に優れるため、環境汚染の原因となる元素を見つけたり、資源探査に役立ったり、考古学試料の産地同定を行ったりする。